

# 無洗米 食べきりサイズで 真空パック装置開発

秋田市の  
トイヨー 県産米を首都圏へ



パック詰めされた無洗米

秋田市の機械開発製造のトイヨー（鎌田均社長）は、コメ1人分の少量単位で真空パックする「お米定量充填真空包装装置」を開発した。横手市の米販売店と共同で、県内や首都圏向けに県産米のパック販売を開始する。

包装装置は、同社が2年前や野菜などの食品にも対応可能にした工業製品などをパック詰めする連続真空包装機械を改良。コメのような粒状のものや水産加工品の水気がこぼれないよう封入する角度を工夫した。コストの場合、1

人分（1・2合）を真空パックする時間は2〜3秒で、1時間に650〜700個のパックを作ることができる。包装装置の大きさは幅1.8m、高さ1.8m。価格は本体650万円。包装装置は、工業製品



トイヨーが開発したお米  
定量充填真空包装装置

包装装置  
は、工業製品

メの場合、1人分（1・2合）を真空パックする時間は2〜3秒で、1時間に650〜700個のパックを作ることができる。包装装置の大きさは幅1.8m、高さ1.8m。価格は本体650万円。

がある。とみている。

同社は横手市の米販売店・藤倉商店（篠木郁子社長）と共同で、淡雪こまちやゆめおぼなど県産7銘柄の無洗米を、1合単位で真空パックして販売する計画。鎌田社長は「首都圏の一人暮らしの高齢者などにさまざまな銘柄の県産米を気軽に味わってほしい。秋田のお土産にもなる」と話し、今後、県内や首都圏のホテルや土産物販売店などに売り込みを図っていく考えだ。価格は税込みで1パック180円。

同社はあす24日、同市新屋の県総合食品研究センターで包装装置などの展示会を開く。時間は午前9時半〜午後4時。また7月21日から東京のビッグサイトで行われる水

産食品産業の見本市「ジャパ  
ン・インターナショナル・シー  
フードショー」にも出展する。  
問い合わせは同社 ☎018  
・868・5673  
（那須智子）